

目次

- 画家・岩名泰岳さん・・・・・・・・・・表紙～2
- 伊賀びとになりました／一筆啓上・・・・・・・・3
- エッセー「賢人・凡人・宇宙人」No.6・・・・4
- これから情報／ぶんとイベント案内・・・・・・・・5～6
- 大ファイル伊賀公演 合唱団員募集^{ほか}・・・・・・・・7
- 「MOVE」未来へと動き出す・・・・・・・・・・8

いわ な やす たけ
画家 岩名泰岳 さん

国道163号線を奈良・月ヶ瀬に向かう途中にアトリエがある。伊賀市島ヶ原。かつての島ヶ原村である。山を伐り拓いた中にある手作りの建物に一歩足を踏み入れると、そこは、芸術の世界。壁面に灰色の板が貼られ、見るからに難解な数式が書かれた上に、描きかけや完成した絵が飾られている。アトリエに電気はなく、太陽の光が入る間が作業の時間になる。自分の想いを巡らせながら、壁面上の作品を仕上げていくスタイルは印象的だ。この空間で、28歳の若き画家・岩名泰岳は感性を磨きながら、郷土愛を膨らませる。

小学3年のとき、田舎暮らしを望む両親とともに当時の上野市から島ヶ原村に引っ越した。中学2年のときに市町村合併があった。時代の流れとはいえ「島ヶ原村」の名が消える寂しさを感じ、「人を、地元を、大切にしたい。それを芸術で表現したい」と考えるようになっていた。高校では美術部に所属しながら、図書館で古い画集を見たり美

郷土への想いを芸術で

術の歴史を読んだりすることに夢中になった。美術館に通い、色々な歴史を調べるうちに、外国で学びたいと夢が大きくなっていく。

そんな高校1年の秋、伊賀上野駅で乗った列車内で、テレビで見た人が席の前に座っていた。「元永定正さんだった。「どうしてこの電車に乗っているんですか？」と、恥ずかしさも忘れて声をかけていた。会話の中から、元永さんが伊賀の出身で伊賀上野駅の近くにアトリエがあることを知った。あまりの感激に、美術の世界に進む自分の夢を語り始めていた。この出会いをきっかけに、毎月のように大阪に通って指導を受け、やがて元永さんが教壇に立つ成安造形大学に進むが、元永さんからは技巧よりも芸術家の心情のようなものを習った。最初は認められなくても「自分の造りたいものを造り続けていくことの大切さ」を学んだという。

大学では、新しい芸術の考え方も知り、想いは外国へと

広がった。ドイツ国立デュッセルドルフ芸術アカデミー研究生となり、同世代のアーティストの集まりで刺激を受けていった。そんな時、東日本大震災が起き、自分が目指そうとした芸術の原点に立ち戻る機会になった。「自分が造らなければならぬ芸術を地元に帰って考えていきたい」。

改めてそう思い、2年後に島ヶ原へ戻ってきたのだった。地元の風習や伝統文化など、ふるさとを絵に描く。それを地元以外に発信し、ふるさとの良さをたくさんの人に分かちてもらいたいという。「地元の若者たちが創造力でふるさとの価値を再生させることができたら」と考え、2013年に島ヶ原村民芸術「蜜の木」を結成した。祭りの再

生など文化的なことに関わりを持つ若者のクリエイティブ集団だ。島ヶ原に興味を持つ外部の若者も交えながら、ここから生み出したアイデアが地域づくりに繋がり、他の地域に広がっていくことを願っている。

将来の夢は「自分が絵を描くことで地域がよくなる、自分が何かをすると周りが変わる。自分のできることで伝えていく作業をし続けたい」。

アトリエには、正月堂修正会の夜、お堂の火を守り続けたことを描いた絵がある。濃い青、青、灰色の中に1つの赤い点。そこからは、村人たちと大切な火を守り過ごした夜の温かい雰囲気伝わってくる。この絵が展覧会で紹介され、地元を知ってもらうことにつながるのだと思うとワクワクする。彼の夢が世界へと広がっていくことを応援したい。

Ⅱ表紙の写真から続く

(取材)Ⅱ広報事業委員 東出 欣子



伊賀びと になりました

手先と爪楊枝だけで作るミニチュアは昭和の雰囲気が漂う作品ばかり。指先ほどもない小さな「商品」、が、八百屋や精肉店など「店舗」の中に陳列されています。小さな小豆にも筋が付けられ、米粒ひとつにも細かな変化があります。1号ほどの赤と黒の金魚も、止まっているけど泳いでいるように見えます。



ミニチュアづくりに夢中

かわもと みちえ
川本 倫栄さん

樹脂粘土に色をつけて練り込み、表情に合わせて指先で形をつくる。その正確さ、細かさは、楽しく、面白く、愛おしく…と、たぶん、見た者しかわからない不思議さまで持っているように思いました。

20数年前、「ドールハウス」に興味を持ったのがきっかけで、自己流でミニチュア作りに夢中になった

そうです。かつては都会に住んでいましたが、100点以上の作品で部屋があふれ返るようになり、夫とともに家探しをしたところ、伊賀の地・森寺に蔵付きの素敵な住まいを見つ

けることができました。

今年、作品がテレビで紹介されるまでも550人以上の人が鑑賞に訪れ、今では訪ね来る人々に地域の人たちが「あの家やで」と案内してくれるほどになったとか。伊賀に移り住んでまだ8年余りとは思えないほど、地域の人々とも仲良く、これ以上ない快適な生活をされているようです。

イワシのフライ1尾60円、上等のお肉もグラム550円。ミニチュアの商品はとっても安価。「私なら、これぐらいの値段で売って」と、川本さんの気配りも感じました。

(広報事業委員 松永啓子)

一筆啓上 ふるさとへ

祖先が育んだ文化を活用する頼もしい故郷！

株式会社 ブレイン
ゼネラルマネージャー 古川 直正

故郷を離れて34年。今年で52歳になりました。この歳になって、遠く離れて見る故郷『伊賀上野』は、凄く誇らしく、輝いています。京都で過ごした学生時代、イギリス出身の英語教師を故郷に案内しましたが、日本一とも言われるお濠に囲まれた上野城やカラクリっぱいの忍者屋敷、俳句文化が詰まった俳聖殿などに凄く感動してくれたのを今でもはっきり覚えています。

就職して初めて行った北海道、映像やイベントの世界に飛び込んでから暮らす東京での生活。たくさんの人との出会いの中で、伊賀出身である僕は、誰と話すときも、初対面の自己紹介から話題にこと欠くことはありませんでした。「忍者の里、伊賀（上野）の

出身なんです！」「Do you know Ninja? My home town IGA is very famous for NINJA」と話すと、みんな笑顔で応じてくれます。

ただ、故郷を誇らしく思い始めたのは、実はここ数年なんです。世界中で人気の『忍者』や『お城』、『俳句』は、もちろん素晴らしい伝統・歴史・文化ですが、何より誇らしいのは、この地でそれら地域に根ざした魅力になお一層光をあて、輝かせてくれている地元の友人・知人たちの奮闘です。

Facebook（フェイスブック）の登場でここ数年、故郷の知人・友人と何十年ぶりの再会を果たし、近況を報告し合うことが増えました。私の高校時代にはなかつ

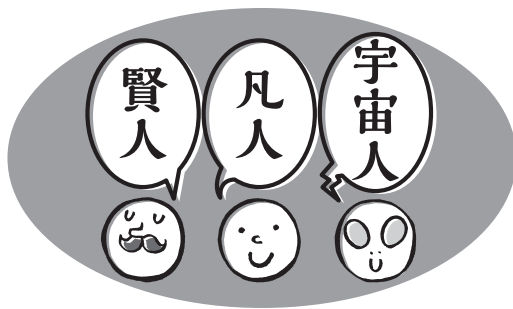
た『NINJA フェスタ』や『阿修羅の忍者ショー』、世界に誇れる和菓子屋さん、在住外国人の暮らしをサポートする人、伊賀焼振興に取り組む人、市民マラソンを企画する人、ハラル醤油に取り組む企業など。伊賀は『祖先が育んだ文化に寄り掛かるのではなく、活用して新たな文化に昇華させていく』そんな人たちがたくさん暮らす街に進化していると思います。故郷に感謝！



(映像・イベントプロデューサー、
横浜市在住)

「てめえ達、汚いじゃねえか！一方通行の出口で待ち伏せていて、取り締まるなんぞ、天下の警察のすることじゃねえ!!」

江戸ッ子のイプロデューサーが、巻舌でタンカを切ったとたん、公務執行妨害と叫んだ警官は、話は署で聞くと、取りつくしまもなかった。車に乗ったわたし達5人は、パ



No.6 北泉優子

現行犯で連行？

トカーの先導で鹿児島市内の警察署に連行された。

もう何十年も前になるだろうか……。この時、わたしは、東宝のプロデューサー2人、地元在住の案内人兼仲介者、運転の役者志望の若者の5人で、かつての特攻基地・知覧

へ、映画の原作のための下見と取材に行っていたのだ。鹿児島市とその周辺を舞台に、原作となる小説は女性週刊誌に一年間掲載することに決定していた。タイトルは「戀燈（こいあかり）」。九州・東京方面を転々とする女の一生を描くものだった。主たる地は鹿児島市。知覧は重要な地になるので、写真を撮ったり、インタビューしたり、かなり念入りに取材をした。そのため、鹿児島へ戻るのが予定より遅くなった。

その夜は、ホテルで、ちよっとリッチな飲み会をする手筈を整えていたから、運転する若者はスピードを出していた。が、運の悪いことに夕方のラッシュにぶつかって、車はのろのろになってしまった。

市の中心道路は三車線で、大きな街路樹が生い茂り、標識を半分隠していた。走っては止まりしているうち、取材の疲れと空腹で皆、黙りこくってしまった。ハンドルを握っていた若者は、懸命に空いた道を探していた。

と、車が一台も通行しない細い道が見えた。標識は若葉で半分しか見えない。彼は、アクセルを踏み、その道へハンドルを切った。あっと思ったが、その道にはパトカーが2台駐車していて、警官がいきなり告げたのだ「一方通行進入違反!」。

すったもんだがあつて、冒頭のイプロデューサーのタンカと相成った。Iさんは人一倍の熱血漢で、けんか早い。腕つぶしも強い。クドクド説明する相手に、カッとなって切れかけた。「署で話しましょう。ここじゃ、ラチがあかない」。年配のお巡りさんの取りなしで警察署へ向かった。



「女性の方は、車で待っていてください」。そう言われて、わたし1人車に残され、男4人は署内に消えた。それっきり、待てど暮らせど戻ってこない。このまま留置されるのかしら。不安と心配で、わたしは腕時計を見つめ続けていた。夜の9時になったとき、たまりかねて腰を浮かせた。様子を見に行こうと思ったのだ。

ところが、その前に、正面玄関に4人が現れた。しかも、制服の警官、それも上司らしい10人ほどが、4人に最敬礼をしているのだ。いったい、どうなってるの!?

イプロデューサーは一言も口にしなかったが、もう1人のMさんが教えてくれた。Iさんが、当時の首相の個人事務所へ電話し、懐刀の秘書が、署長に何卒よしなにと伝え、即刻解放されたという次第だった。Iさんは、東宝の名も女性週刊誌の名も一切出さず、遊び仲間と旅行に来たで通したという。I家は、いところが皇室のお妃候補と噂されたこともある名門中の名門。政財界に太いパイプを持っているのだ。だが、彼はそのことを利用したのは、この件1件だけだ。あとは全部、自分の力量でつかみとり、せいっぱい仕事をしてきた。仕事ではコネを使わない。これが彼の身上だった。

わたしは、彼をずっと尊敬していた。でも、今はもう居ない。がんに冒され、数年前に天国へ旅立った。

「Iちゃん、映画つくってる? こちらで」

(作家・市内在住)

ホール・ドームこれから情報

日 時	催 し 物	入 場 料	主催・問い合わせ
4/17日 13:00～	民謡やよい会 第27回発表大会	無 料	民謡やよい会 ☎21-2775 (大会会長 曾我)
4/23(土) 10:00～19:00 4/24日 10:00～19:00	伊賀市文化会館 開館25周年記念事業 MOVE	無 料 ※飲食、体験 は有料	(公)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015(伊賀市文化会館)
4/30(土) 17:30～ 5/1日 13:30～	上野高等学校 第20回定期演奏会	一般800円、高校 生以下500円(当 日は各200円増 し)※小学生未満 は無料 [2日間通し券] 一般1200円、高 校生以下800円 (前売りのみ)	上野高等学校吹奏楽部、 上野高等学校ギター・マン ドリン部 ☎21-2551 上野高等学校 (定演係・福岡)
5/8日 13:30～	林 修 講演会 「やりたい事」と「できる事」	一般1,500円	(公)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015(伊賀市文化会館)
5/15日 9:45～	伊賀市上野カラオケ協会 30周年記念発表会	無 料 (要入場整理券)	伊賀市上野カラオケ協会 ☎090-5034-9776(会長 秋永)
5/22日 13:00～	辻村大智先生 祝還暦コンサート ザ・同奏会 ～16ヶ月間の同窓会～	無 料	DAICHI USB BAND(上野商業高等学校吹 奏楽部OG 558年度～H12年度卒) ☎090-1277-8810(北崎)
5/29日 15:00～	クラシックのいろは2016 Vol.1 [四季]以外にたぶん聞いたことあるのはこれ	一般1,000円	(公)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015(伊賀市文化会館)
6/5日 13:30～	上野ウィンドアンサンブル 30回記念演奏会	大人1,000円 こども500円 (4歳～高校生)	上野ウィンドアンサンブル ☎47-0405(岡山)

日 時	催 し 物	場 所	入 場 料	主催・問い合わせ
4/17日 14:00～	ABCLIVE vol.1 ～あのバンド超バネエ～	小ホール	無 料	AxelBrakeCrash ☎090-9188-3035(富永)
5/14(土) 10:00～	タッチ・ザ・スタインウェイ	大ホール	参加費 500円 (要予約)	(公)伊賀市文化都市協会 ☎45-9125(ふるさと会館いが)

日 時	催 し 物	入 場 料	主催・問い合わせ
4/29(金) 13:30～	第34回 ミュージック・ガーデン	無 料	米田真理子 ☎66-1608(米田)
5/15日 9:40～	歌と踊りの祭典	無 料	箕浦てる美 ☎67-0303(箕浦)
5/22日 13:00～	中村文昭講演会 in伊賀(青山)	2,000円(前売) 2,500円(当日)	チー△happy forever (神山幸久) ☎090-5450-9952(神山)
6/4(土) 10:00～	タッチ・ザ・スタインウェイ	参加費500円 (要予約)	(公)伊賀市文化都市協会 ☎52-1109(青山ホール)
6/12日 13:00～	2016 Blue Echo Concert	2,000円	青山文化サークル連絡協議会(Blue Echo) ☎090-6072-2180(福岡正俊)

日 時	催 し 物	場 所	入 場 料	主催・問い合わせ
4/17日 13:30～	第36回 レスナーピアノ発表会	ホール	無 料	上野レスナーグループ ☎090-2263-3192(松島)
4/21(木) 13:30～	市民ふくし大学講座 いが見守り支援員養成公開講座	ホール	無 料	社会福祉法人 伊賀市社会福祉協議会 ☎21-5866(乾)
4/23(土) ①9:45 ②13:45	ミュージックフェスタ 2016	ホール	無 料	上野レスナーグループ ☎21-6767(渋谷)
4/29(金) 12:30～	リピート発表会	ホール	無 料	レスナーグループリピート ☎24-1541(森下)
5/15日 13:00～	ポーコ・ア・ポーココンサート (ピアノ発表会)	ホール	無 料	ポーコ・ア・ポーコ ☎090-7670-8823(渡辺)
5/22日 14:00～	第11回さんさん名曲コンサート 時代を彩る名曲たち	ホール	500円	(公)伊賀市文化都市協会 ☎22-0511
5/28(土) 10:00～	タッチ・ザ・スタインウェイ	ホール	参加費500円 (要予約)	(公)伊賀市文化都市協会 ☎45-9125(ふるさと会館いが)
6/5日 9:30～	ファミリーカラオケ発表会	ホール	無 料	カラオケあやま県う広場 ☎090-2574-6425(浅野)
6/12日 9:30～	第21回 さわいカラオケ教室発表会	ホール	無 料	澤井則子 ☎21-6191

日 時	催 し 物	使用競技場	主催・問い合わせ
4/29(金) 9:00～	伊賀春季バレーボール大会 中学生の部	第一、第二	伊賀バレーボール協会 ☎090-1983-4216(澤)
5/1日 9:00～	JAIがほくぶ旗争奪 伊賀小学生バレーボール大会	第一、第二	伊賀ジュニアバレーボール育成会 ☎21-4199(木村)
5/8日 9:00～	平成28年度 伊賀市卓球団体選手権大会	第一	伊賀市卓球協会 ☎090-5033-4821(其道)
5/15日 9:00～	ドッジボール大会 さつき杯	第一	三重県ドッジボール協会 ☎090-1750-4570(内田)
5/28(土) 5/29日 5/30日 9:30～	三重県高等学校 総合体育大会 バドミントン競技	第一	三重県高等学校体育連盟 ☎0596-23-2234 (伊勢工業高校)
6/4(土) 9:00～	上野子ども会卓球大会	第一	上野児童福祉会連合会 ☎22-9637
6/5日 9:00～	中部総合6人制バレーボール大会 男女選手権大会(一般の部) 三重県予選	第一	三重県バレーボール協会 ☎090-1983-4216(澤)

GYROKINESIS® —ジャイロキネシス—

ダンサーのためのヨガとしてニューヨークで広がった、今注目を集めているエクササイズです。
“GYRO”とは“円、らせん”を意味し、曲線を描くような動きを、リズミカルな呼吸法と合わせて、椅子に座って行います。
身体の自然な動きに逆らわないため、年齢、スポーツ経験の有無にかかわらず、誰にでも無理なく行えます。

回 毎週金曜日 6回コース
5月27日～7月1日 19:00～20:15 (受付18:30～)
所 しらさぎ運動公園 定 20名
料 3,000円 講 西垣 真由美先生
受 4月22日(金)11:00から☎22-0511で受付

Balletone [バレトン]

フィットネスでメリハリボディを作る、バレエでインナーマッスルを鍛える、ヨガで心身ともにリラックスする…3つの要素を組み合わせたエクササイズです。
骨盤調整や姿勢矯正に効果的で、裸足で行うことで足裏刺激にもなります。運動が苦手な方、初めての方も気軽にご参加いただけます。

回 毎週金曜日 6回コース
5月27日～7月1日 14:15～15:15 (受付14:00～)
所 上野運動公園体育館 定 20名
料 3,000円 講 高橋 一代先生
受 4月22日(金)10:00から☎22-0511で受付

太極拳	マットエクササイズ	エアロビクス	Let'sYOGAin 文化会館
回 毎週土曜日10回コース 第1期5月14日～7月30日 ※6/25、7/16休講 10:00～11:30 (受付9:30～) 所 ふるさと会館いが 定 20名 料 ¥5,000円 講 横山 公則先生(内藤 英樹先生) 受 4月17日(日)10:00から ☎45-9125で受付	回 毎週月曜日10回コース 第2期6月20日～9月5日 ※7/18、8/15休講 11:00～12:00 (受付10:30～) 所 伊賀上野武道館 定 15名 料 ¥5,000円 講 阿部 和矢先生 受 4月25日(月)13:00から ☎22-0511で受付 ※1回のお電話で2名まで	回 毎週月曜日10回コース 第2期6月20日～9月5日 ※7/18、8/15休講 19:45～20:45 (受付19:30～) 所 阿山B&G海洋センター 定 35名 料 ¥5,000円 講 山下 華子先生 受 4月30日(土)14:00から ☎22-0511で受付	回 毎週水曜日10回コース 第2期6月22日～8月31日 ※8/3休講 11:00～12:00 (受付10:30～) 所 伊賀市文化会館 定 25名 料 ¥5,000円 講 中 依伊子先生 受 4月27日(水)13:00から ☎22-0511で受付 ※1回のお電話で3名まで
骨盤矯正ストレッチ	ラテン系フィットネス ZUMBA	Let'sYOGAin 武道館	元気ママ、ママ&ベビーの3B体操
回 毎週木曜日10回コース 第2期6月23日～9月1日 ※8/11休講 13:00～14:00 (受付12:30～) 所 伊賀市文化会館 定 25名 料 ¥5,000円 講 辻 明子先生 受 4月21日(木)10:00から ☎22-0511で受付	回 毎週木曜日10回コース 第2期6月23日～9月1日 ※8/11休講 19:30～20:30 (受付19:00～) 所 しらさぎ運動公園管理棟 定 30名 料 ¥5,000円 講 川南 林恵先生 受 4月30日(土)11:00から ☎22-0511で受付 ※1回のお電話で3名まで	回 毎週金曜日10回コース 第2期6月24日～9月9日 ※7/15、8/12休講 11:00～12:00 (受付10:30～) 所 伊賀上野武道館 定 15名 料 ¥5,000円 講 錦 真奈美先生 受 4月22日(金)13:00から ☎22-0511で受付 ※1回のお電話で2名まで	回 毎週火曜日10回コース 第2期6月28日～9月6日 ※8/16休講 元気ママクラス 10:00～11:00 ママ&ベビークラス 11:00～12:00 所 ゆめドームうえの 定 各クラス15組 料 ¥5,000円 講 (社)日本3B体操協会公認インストラクター 受 4月27日(水)10:00から ☎22-0511で受付

2016年度 ホール事業上半期ラインナップ

4月

伊賀市文化会館 開館25周年記念事業
この春…伊賀市文化会館が面白い。
MOVE

4月23日(土)・24日(日) ※詳しくは8ページをご覧ください。

5月

林 修 講演会
「やりたい事」と「できる事」
5月8日(日)13:30~
¥一般1,500円(全席指定)発売中



文

第11回さんさん名曲コンサート
時代を彩る名曲たち

5月22日(日)14:00~ ¥一般500円(全席自由)発売中

あ

クラシックのいろは2016 Vol.1
「四季」以外に多分聴いたことあるのはこれ
5月29日(日)15:00~ ¥一般1,000円(自由)発売中
高校生以下500円・ペアチケット1,600円

文

7月

NHKのど自慢
7月3日(日)
※詳しくは広報いが市5/1号をご覧ください。

文

May J. 10th Anniversary Tour 2016
7月16日(土)18:00~
¥前売一般6,000円
当日一般6,500円
(全席指定) 5/14(土)発売開始



文

文 クラシックのいろは2016 Vol.2
有名なんだけど意外に知らない「管弦楽組曲」
7月30日(土)15:00~ ¥一般1,000円(自由)発売中
高校生以下500円・ペアチケット1,600円

8月

文 伊賀市文化会館 開館25周年記念事業
ご当地吉本新喜劇&バラエティー

8月28日(日)①13:00~ ②16:30~

¥一般 4,000円(全席指定)

※25周年記念特別価格

当日500円増 6/18(土) 発売開始



9月

青 Live Road 2016
10th Anniversary Special Live
9月4日(日)14:00~
¥一般500円(全席自由) 7/2(土) 発売開始

ふ うたおにが歌う 和、の世界
9月10日(土)17:30~
¥無料(自由席)

ふ 第2回 竹灯り幽玄能
9月11日(日)17:30~
¥無料(自由席)



文 伊賀市文化会館 開館25周年記念事業
大阪フィルハーモニー交響楽団 伊賀公演
9月22日(木・祝)16:00~
¥一般 2,500円(全席指定) 7/10(日)発売開始

青 アーティストリレーコンサート Vol.2 Jazz Violin Concert
9月25日(日)16:00~
¥一般1,500円(全席自由) 7/16(土)発売開始

伊賀市文化会館…文 ふるさと会館いが…ふ 青山ホール…青 あやま文化センター…あ

公演内容・日時などが変更になる場合があります

伊賀上野NINJAフェスタ協賛事業

光のART展Ⅲ 光と影—SHADOW—

【Artist】 三代沢信寿(造形染色作家)
林田さなえ(ガラスアート)
クリスティーン・フリント・サト(墨)
馬場幸次(組子)
本郷 仁(ガラス)
伊藤泰三(ガラス)
サブロウ(ガラス)
度會保浩(ステンドグラス)

【Produce】 三代沢信寿



4.29-5.8 17:00~20:30
史跡旧崇広堂

入場無料

「Night Library & Museum 2016」 ～キラキラとともに～

今年は、キラキラ光る高校生と伊賀でキラキラ輝く作家の作品ステンドグラスが、夜の図書館をさらに彩ります。上野高校キター・マンドリン部の演奏会と、伊賀白鳳高校美術部による子どものための工作コーナー、カフェにはあけぼの学園高校生がつくったお菓子も登場します。
恒例の「おはなし会」「キッチンカーによるカフェコーナー」も開催します。

日 5月13日(金) 14日(土)
16:30~20:30

所 伊賀市上野図書館 ¥ 無料
主な催し: 「スペシャルライブ癒しのアイリッシュ
ユハープ」(13日19:00~) /
「朗読のゆうべ」(14日19:00~)

受 5月7日(土) 9:00~
上野図書館 ☎21-6868

詳しくはホームページ、チラシをご覧ください。



心からあふれ出す、うた
~Songs from my Heart~

鈴木重子 Special Concert

日 5月28日(土)
開場18:00
開演18:30
¥ 一般1,000円(全席自由)
所 史跡旧崇広堂



すうこうどう寄席 vol.15

“老若男女!!今、ちまたで落語が大流行!”

桂三金



6/25(土)
19時開演



露の端

所 史跡旧崇広堂
¥ 一般500円(自由席) 定 120名
4月16日(土) チケット発売開始

日 日時 所 場所 ¥ 料金 定 定員 演 出演 講 講師 対 対象者 内 内容 受 申込受付 チ チケット 問 問い合わせ

芸術(舞台)用語

<ホワイエ>

劇場の入り口から客席にいたる空間。一般的には劇場のロビーのこと。

(全国公立文化施設協会発行「舞台用語ハンドブック」より)

伊賀市文化会館 開館25周年記念事業

大阪フィルハーモニー交響楽団 伊賀公演 一般公募合唱団員募集

オーケストラといっしょに歌ってみませんか!?

日 時：9月22日(木・祝) 16:00開演

会 場：伊賀市文化会館 さまざまホール

指 揮：円光寺雅彦

《募集要項》

定 数：70名(混成合唱)

パート：ソプラノ20名・アルト20名・テナー15名・バス15名

合唱曲：「美しく青きドナウ」(原調・日本語・混声合唱)

「ふるさと」(日本語・斉唱)

合唱指導：波多野均/練習ピアノ：桂富佐

練習日程：全7回 伊賀市文化会館19:30~21:30

① 7/6(水)② 7/20(水)③ 8/3(水)④ 8/17(水)

⑤ 8/31(水)⑥ 9/14(水)⑦ 9/21(水)

条件等：高校生以上(楽譜が読め、全ての練習に参加が望ましい)

本公演のチケット1人1枚(2,500円)以上をご購入ください

(但し、出演ご本人の座席は主催者で決定させていただきます)

募集期間：5月1日(日) 9:00~22日(日)17:00

申込受付：電話22-0511で先着順に受付(1回のお電話で3名まで)



ホワイエ 展示空間に利用できます



ホワイエに特設した展示パネルと飾り台
(写真：生け花を飾った様子)

ぶんとでは、市民のみなさんが多様な芸術に触れられる空間づくりを目指して、伊賀市文化会館のホワイエ(6号欄外に用語解説)を展示スペースとして利用できるようにしました。絵画や書、写真、立体作品などに取り組む芸術団体を対象に、個展やグループ展などの会場としての利用を4月から受け付けています。

さまざまホールに通じるホワイエは約180平方メートルの広さがありますが、公演時にお客様が休憩する他は、ほとんど使われていませんでした。このため、白色系の展示パネル(幅90センチ、高さ2.4メートル)を自由な形につなぎ合わせることで、必要に応じた展示スペースを特設できるようにしました。

パネルには絵画などの平面作品が展示でき、立体作品は高さ30センチの黒色の飾り台に置けるようにします。台は重ねたり並べることで高さや幅を調整できます。

展示希望期間が演奏会などホール内の催しと重なる場合であっても、主催者間で合意が得られれば同時開催したいと考えています。会館全体を活用することで、お客様にとっては鑑賞の幅が広がり、芸術文化に触れる楽しみが増えるのではないのでしょうか?

展示スペースの利用について詳しくは、ぶんと事務局(☎22-0511)へおたずね下さい。

伊賀市文化会館 開館25周年記念

7月3日(日)

“NHKのど自慢”開催決定!



NHK津放送局と伊賀市および(公財)伊賀市文化都市協会では、伊賀市文化会館開館25周年を記念して7月3日(日)に「NHKのど自慢」を開催します。

出場及び観覧を希望される方の募集詳細については、NHK津放送局のホームページや「広報いが市5/1号」などでお知らせします。

Live Road 2016



2006年から開催し、今年で記念すべき10年目を迎えるLive Road(ライブロード)。
ゲストにプロギタリスト 竹田京右を招き盛大に開催します!

出演者(バンド)募集!!

- 開催日時 9/4(SUN) 14:00 START
- 会 場 青山ホール
- 募 集 枠 9組(注：ピアノ使用不可)
- ※応募多数の場合は選考により出演者(バンド)を決定します。
- ※1組の持ち時間(演奏時間)20分
- 募集期間 5/8(日) 9:00~5/29(日) 17:00
- 応募条件 ・お一人様1エントリーに限ります。・1組につきチケット20枚(10,000円)お買取りください。・7/1(金)の出演者事前ミーティングに出席ください。・ゲストの竹田京右との共演に数名ご参加ください。
- ※詳しくは募集チラシをご覧ください。

タッチ・ザ・スタインウェイ

~世界最高峰のスタインウェイ・ピアノを気軽に弾いてみませんか!~

所 ふるさと会館いが 日 5月14日(土) 10:00~17:00

所 あやま文化センター 日 5月28日(土) 10:00~17:00

所 青山ホール 日 6月 4日(土) 10:00~17:00

内 1枠30分 ※1枠2人まで

¥ 500円

・青山ホールに限り2台のピアノ同時演奏も可能で、参加費は1枠1時間まで2,000円(1枠に2~4人まで)

定 各14枠 ※先着順

受 4月23日(土) 11:00から電話受付

※「あやま文化センター」は「ふるさと会館いが」で受付

□申込先・ふるさと会館いが ☎45-9125(月曜休館)

・青山ホール ☎52-1109(水曜休館)

※申込者本人のみ利用。※各日1人1枠のみ。

※音楽教室等の指導としての利用はできません。

日 日時 所 場所 ¥ 料金 定 定員 演 出演 内 内容 受 申込受付 チ チケット

芸術(舞台)用語

<残響時間>

ホールの音響特性の一つ。一定の条件でホールの響きを何秒等と表す。コンサートホールでは長めに、演劇の劇場などでは短めがよいとされている。ホールの形状、特に容積によって異なり、容積が大きくなれば残響は長くなるといわれている。



©Dailichi Printing

ぶんと通信

単純に計算すれば9125日。21万9千時間。

数字にすると気が遠くなるほどの時の経過とともに、悠然と在り続ける「伊賀市文化会館」は、今年で開館25周年を迎える。年間約6万人が訪れるこの空間でどれだけの人の「笑顔」を見届けてきたのだろう。そしてこれからどれだけの人に「笑顔」を届けられるだろう。「出会い」、「学び」、

聴いて観てだあこ

「MOVE」

未来へと動き出す

「楽しみ」…その先には「笑顔」があるのだが、必ず「動き出す」という人の行動が伴い、与える側は「動き」によって人に伝える。そんなこ

とを考えながら4月の25周年記念オープニングイベント「MOVE」を企画している。

言葉の通りテーマは「動き出す」。未来を担う子どもたちを

中心に家族で楽しめる様々なムーブメントを予定している。まず23日

は、伊賀市内で活動する6つのダンスチーム約200人が躍動のステージを届けるほか、12時半…その場にいる人たちだけが目撃する「その時、何かが起こる…」。さらに、サウンドパフォーマンス集団SILENTによる「砂で描くARTの世界」も必見。

また、24日は、いが☆グリオ君や人気のバリイさんなど、約30体のご

当地キャラが大集合。忍者集団「伊賀之忍砦」のメンバーによる忍者ショーや「いきなり忍にん体操」などパフォーマンスが続く。また、2日間とも楽しめるのは、子ども

たちに人気の手づくり体験のほか、「バルーンドレスのなりきりお姫様」。ホール内では180度スクリーンのプロジェク

ションアート、屋外では伊賀の食材や「技」にこだわった「伊賀Foodcourt」に約10店舗が並ぶ。

伊賀が生んだ俳聖・松尾芭蕉翁の理念の一つに「不易流行」がある。「不易」はいつまでも



バルーンドレス

変わらないもの。「流行」は時代に応じて変化することと解されるが、これはぶんとの主事業である芸術文化の振興にも通じる。伊賀市のメインホールとして「芸術文化の発信拠点」である伊賀市文化会館では、伝統芸能、伝統芸術など「不易」にあたる古き良き伝統文化を次世代に伝える一方、時代の流れに応じた現代文化の「流行」をしっかりと把握し、新たな発想で取り組み、次世代を担う子供たちや若者がそこに集まる施策を進めなければならない。

25周年。四半世紀が経過した伊賀市文化会館のオープニングイベント「MOVE」は、まさに「流行」をイメージした内容となっている。しかし、それらを支える講師、職人、作家たちは、先人から学び、受け継ぎ、新たなスパイスを追加しながら伝える「現在進行形」のもの。この日、このとき、ここに集まり「楽しむ」ことで、多くの「笑顔」が生まれ、また次々と「未来へと動き出す」。伊賀市文化会館が次の25年で今までの「笑顔」であふれるようにすること、それが私たち職員に与えられた使命だと思つた。

(担当・吉川和義)

林修 講演会



5/8日 好評発売中
開場13:00 開演13:30
一般 1,500円
(全席指定)
伊賀市文化会館

第11回 さんさん名曲コンサート 時代を彩る名曲たち



5/22日 好評発売中
開場13:30 開演14:00
500円
(全席自由)
あやま文化センター

クラシックのいろは2016 Vol.1 「四季」以外に多分聴いたことあるのはこれ



5/29日 開場14:30 開演15:00 好評発売中
4回セット券(指定席) 3,000円
各回単発券(自由席) 一般1,000円
高校生以下 500円
ペアチケット(2枚) 1,600円
Vol.2 7/30(土) Vol.3 11/5(土) Vol.4 3/5(日) 各回のチケットも同時発売中です
伊賀市文化会館

BUNTO チケット情報

May J.
10th Anniversary Tour
2016



7/16土 5/14生発売
開場17:00 開演18:00
一般 6,000円
(当日500円増)
伊賀市文化会館

●チケットのお問い合わせ●

伊賀市文化会館
青山ホール

TEL.0595(24)7015
TEL.0595(52)1109

ふるさと会館いが
あやま文化センター

TEL.0595(45)9125
TEL.0595(43)1125